

## ～各施設での良い取り組み例～

### 日頃の感染対策

- 感染対策マニュアルを整備している
- 次亜塩素酸ナトリウム水溶液は毎日作成し、遮光容器に入れている
- 月 1 回、系列病院の感染対策委員会が施設内ラウンドしている
- 吐物処理手順について施設全体で勉強会を行っている
- 年 2 回感染症対策の研修を開催し、手洗いや PPE 着脱訓練を実施している
- 毎年、環境ラウンドに参加している

### 早期発見・早期対応

- 毎日利用者全員の体調確認を行っている
- 囁託医が 24 時間対応で相談しやすい体制が整っている
- 感染症の流行状況について、県や市の感染症情報センターから適宜情報収集し、流行状況に応じて対応を検討している。
- 個人防護具の備蓄が十分にある。備蓄状況を定期的に確認している。

### 感染症発生時の対策

- 薬剤耐性菌(ESBL 等)が検出された利用者は、おむつ交換を最後に回っている
- 入所者に感染症が出た場合のゾーニングについて施設内で検討し、書面で共有できている
- コロナの感染者が出た際に必要になる物品をカートにセットしている
- コロナの感染者が出た時にすぐに個室隔離できるようになっている
- 法人の統括看護師が、コロナが発生した施設を訪問し指導する仕組みがある

### 物品の管理






- 歯ブラシが重ならないように一方向に向けて並ぶように工夫している
- 定期的にスポンジを交換している
- シンクに2個スポンジがあり、1日おきに乾燥させながら使用している
- 液体石鹼の容器を洗浄・乾燥させてから詰め替えるため、2本のボトルを交代で使用している
- バケツに印をつけ、ハイターを希釈する際の水の量が一目でわかるようにしている
- 尿の回収容器にナイロン袋を被せて回収し、その後容器を消毒している
- 手指消毒薬を個人携帯し、手指衛生に取り組みやすい
- 消毒薬の開封日を記入している
- 吐物処理セットに処理手順が入っている。
- 吐物処理セットは各階の汚物室と詰所、食堂等複数個所に設置されている
- 足踏み式のごみ箱を使用している







～助言したこと～

実施できているか  
チェックしてみよう♪



物品管理について

<p>スポンジ</p>	<p><input type="checkbox"/>1～2週間に1回交換する  <input type="checkbox"/>しっかり乾燥させる  <input type="checkbox"/>乾燥させるためスポンジを2～3個準備し、交互に使用する</p>	<p>交換時期が不明で、黒くカビがはえているスポンジはないですか？</p> 
<p>液体石けん</p>	<p><input type="checkbox"/>使い切ったら、容器を洗って乾燥させる  <input type="checkbox"/>替えの容器がない場合は、熱湯消毒または、次亜塩素酸ナトリウム水溶液に浸漬させて消毒する          (0.02%の濃度で10～15分浸ける)</p>	<p>・容器を洗わず継ぎ足していると、緑膿菌等が増殖する可能性があるよ。          ・手指衛生は手洗いか手指消毒、どちらかでOK!</p> 
<p>消毒薬</p>	<p><input type="checkbox"/>容器に何が入っているか明記する（アルコール・次亜塩素酸ナトリウムなど）  <input type="checkbox"/>開封日や使用期限を記載する  <input type="checkbox"/>消毒薬携帯用ボトルは、使用期間が長い場合や汚染がある場合は交換する</p>	
<p>歯ブラシ</p>	<p><input type="checkbox"/>歯ブラシ同士が接触しないように、離して保管する  <input type="checkbox"/>水回りから離して保管する  <input type="checkbox"/>歯ブラシを定期的に交換する</p>	<p>消毒する必要はないです。できれば個別で保管した方がよいです。</p> 
<p>爪切り</p>	<p><input type="checkbox"/>共有でなく、なるべく個別にする</p>	<p>共有の場合は、利用者の手指衛生※をして、菌やウイルスをなるべく取り除いてから使用するのがよいでしょう。          ※手洗い・手指消毒</p> 
<p>吐物処理セット</p>	<p><input type="checkbox"/>必要時すぐに使えるように各フロアに準備する  <input type="checkbox"/>吐物処理手順・物品リスト・消毒薬の作り方等セットの中に入れておく  <input type="checkbox"/>吐物処理の訓練をしても日が経つと忘れていくので、定期的に訓練する</p>	<p>・処理時に使う分の手袋・ガウン等を入れておきましょう。          ・セットには消毒薬(希釈前のもの)も入れておきましょう</p> 

おむつ交換カート	<input type="checkbox"/> 使用後はアルコール消毒または 0.1% 次亜塩素酸ナトリウム水溶液で消毒する	<p>できればカートではなく、個々に準備して、おむつ交換することをオススメします。</p> 
陰洗ボトル	<input type="checkbox"/> 陰洗ボトルは個々に交換する <input type="checkbox"/> 容器の数が足りなければ、0.1%次亜塩素酸ナトリウム水溶液に15分浸漬消毒する	<p>同じ陰洗ボトルで複数人の陰部洗浄を行うと、薬剤耐性菌の感染を広げる可能性があります！</p> 
尿の回収容器	<input type="checkbox"/> 容器全体を 0.1%次亜塩素酸ナトリウム水溶液に浸漬消毒する <input type="checkbox"/> 消毒後、水回りや床面近くの汚染されやすい場所を避けて保管する <input type="checkbox"/> 個々に消毒する	<p>容器全体を消毒しなければ、取っ手や縁が汚いまです。</p> 
清拭車	<input type="checkbox"/> 1日1回は清掃する	<p>熱に強い菌などが繁殖する可能性があるため、清掃しましょう。</p> 
布エプロン	<input type="checkbox"/> 1日1回は洗濯する	<p>食事介助や口腔ケア等で使用するエプロンは、<u>使い捨てを強くオススメ</u>しますが、どうしても難しい場合1日1回は洗濯しましょう。</p> 
静養のためのベッド	<input type="checkbox"/> 週1回のシーツ交換の場合は、疥癬等の感染予防のため使用時に、シーツに直接肌が触れないようにタオルを敷く	
ペーパータオル	<input type="checkbox"/> ホルダーに入れて横向き若しくは下に引き抜く方法で設置する	<p>上向きに設置していると、手洗い後の水滴が落ち、残りのペーパーが汚れます。</p> 
BCP(事業継続計画)	<input type="checkbox"/> すぐに確認できるようにしておく	
循環風呂	<input type="checkbox"/> フィルターの掃除を行っているか確認する	

## 嘔吐時の対応

<input type="checkbox"/> 食事中に嘔吐しすぐ片付けられない場合は、食事を新聞紙で覆い見えなくする、ビニール袋等に入れる等して、利用者が触れないようにする
<input type="checkbox"/> 新聞紙は次亜塩素酸ナトリウムの濃度が薄まるため、ペーパータオルや雑巾がよい ※使用後の雑巾は廃棄する

## 食事介助

<input type="checkbox"/> 咳があつたり、誤嚥しやすい利用者の対応には、スタッフは飛沫感染予防のためフェイスシールドかゴーグルを使用することが望ましい
--

## 汚物室の感染対策

- 未使用物品(未使用おむつ、消毒後の尿瓶等)は汚水槽から離して保管する
- 汚水槽周辺には物を置かない

汚水槽近くに未使用の尿器等、清潔なものを置いていませんか。



おむつ交換カートを汚物室で保管し、未使用のおむつが載っている場合は、ゴミ箱は汚物室、おむつカートはリネン庫等、清潔・不潔を分けて別の場所に保管しましょう。

- 尿を破棄する時やおむつ交換時は、服の前部分が汚れないようにビニールエプロンを着用する



汚物処理では「手袋だけ」という施設が多かったです。「毎回ビニールエプロン着用」はコスト面から難しい場合があると思いますが、耐性菌やノロウイルス感染等のリスクがあるため使用を検討していただきたいです。特に下痢の時は必ず使用し毎回交換する等、頻度を上げるように改善に取り組んでいただきたいです。

- 雑巾はこまめに洗い、汚物室でなく風通しのよいところで干し、臭いのあるものは交換する
- ゴム手袋は汚染している可能性があるため、使い捨てタイプが望ましい

## 消毒について

- 尿器やバケツは「拭き取る消毒」では不十分なため、浸漬消毒を行う
- 完全に浸漬するように重し等を使い物品が浮かないように工夫する

尿器やバケツはしっかり沈めないと消毒できていません。



- ノロウイルスの消毒には次亜塩素酸ナトリウムが有効である

すべての消毒に、バイオスケガワ(活性化二酸化塩素液)や次亜塩素酸水を使用している施設がありました。トイレや汚物室の消毒は次亜塩素酸ナトリウム水溶液がよいでしょう。



- インフルエンザやコロナの流行期に、スタッフの手指消毒の取り組みの評価として消毒薬使用量を測定することも有効である

## ゾーニングについて

- 各施設の居室を確認し、状況に合わせて助言しました